

度々私事で恐縮ですが、開業して半年が経ち、患者数も順調に増えてきて結構忙しく立ち働いております。当初は診療中患者さんが来ないものですから、メールの整理をしたりネット検索をしたりして時間を潰していましたが、今はさすがにそんな時間はなくなりました。病院勤めのときと比べて、患者さんとの距離が近くなったというか、地域に密着した医療という感覚を肌で感じるようになりました。元々アトピー性皮膚炎と乾癬を専門にしていたので紹介を含めてこれらの患者さんが多く受診されるのは当然として、病院勤めのときに比べて座瘡の患者さんが多く受診されるのは意外でした。初診の方は受診動機を問診表に記載していただくのですが、HP をみたり Google の評判をみたりして受診される方が多く、インターネットの威力を改めて感じます。ただし気落ちするのは嫌なので Google の評判は自分ではみないことにしております。クリニックの売上も気になるところで額面はそれなりに上ってきたのですが、内訳をみると乾癬分子標的薬使用承認施設で高額のバイオ製剤を扱っていることもあり、これらの薬剤費が2/3に上り経営面ではまだまだ十分な収益を上げられていません。薬価差益は馬鹿にならないと思っていたのですが、意外や意外、薬剤によってはまったく薬価差益がないものがあり、冷蔵庫の電気代にもならないと思うと製薬会社に良いように使われている気もしますが、患者さんファーストですのでそれは良しと考えることにしています。薬剤が進歩するとそれまで治療に要した治療手技が薬剤にとって代われ、ドクターフィーが減少するのはジレンマです。伝染性軟属腫や尋常性疣贅の外用薬が開発されているという話を聞きますが、皮膚科の大きな収入源であったこれら処置料が処方箋料に置き換わるとなると、これからの皮膚科医は受難の時期を迎えるのではと少々心配になります。

開業にあたっては後輩の先生から「先生の年ならば普通はクリニックを閉院することを考え始める年なのに」と言われ、確かに今年から前期高齢者の仲間入りをし、行政からも介護保険証が送られてきました。男性の平均寿命が81歳、私の年齢での平均余命が20年弱であることを考えるといつ引退すべきかを思案せざるを得ませんが、所詮仕事人間ですので社会のお役に立てるうちは医者が続けたいと思っております。

(五十嵐敦之)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第65巻 第9号 8月号

2023年8月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。